

コメント提供者

一般財団法人社会変革推進財団（S I I F） 戸田 満

コメント

本事業の最大の成果は、岡山市民の健康増進を目的として、結果的に1万人超の市民が参加し、生活習慣改善率と健康状態改善率のいずれにおいてもプロジェクト目標を達成できたことに尽きます。S I Bの本質的な意義は、どのような活動をしたかではなく、活動の結果としてどのような成果が生じたか、という点にあります。本事業では、市民の健康増進というインパクトが測定可能な形で具体的に可視化・創出されました。

また本事業は、事業期間と重なったコロナ禍により大きな影響を受けましたが、「オール岡山」というコンセプトのもと、地域住民による参加と、20社超の地域事業者と地域金融機関による最大規模のコンソーシアム型事業として立ち上がり、関係者の協働や地域のつながりに寄与したとも言えます。成果を達成するために民間のイノベーションや資金を公的事業に活用する点においても、後続のS I B事業にとって学ぶところの多い先行事例になったと認識しています。

S I Bの導入に際しては、発想の転換や柔軟な思考と同時に、インパクトの創出を軸とした本質的な探究心が求められます。更に導入が進み、地域に資するインパクトが創出されることを期待します。